

令和7年度 第2回変更

土地改良事業計画書

畑地帯総合整備事業（担い手支援型）

地区名	岩手地区
所在地	山梨県山梨市西・東地内
事業主体	山梨県

目 次

第1章 目 的 -----	1
第2章 地域及び地積 -----	1
第1節 地 域 -----	1
第2節 地 積 -----	1
第3章 現 況 -----	2
第1節 気象及び海象 -----	2
1. 一般気象 -----	2
2. 特殊気象 -----	2
3. 海 象 -----	2
第2節 土 地 状 況 -----	3
1. 地形、土壌及び侵食の程度 -----	3
2. 土地分類 -----	3
3. 土地利用の状況 -----	4
4. 土地所有の状況 -----	5
第3節 水 利 状 況 -----	6
1. 用水状況 -----	6
2. 排水状況 -----	7
3. 河川状況 -----	8
第4節 道路現況 -----	9
1. 道路概況 -----	9
第5節 地域農業の概況 -----	10
1. 産業別就業人口 -----	10

2. 経営耕地広狭別農家数及び耕地の分散状況 並びに専兼業別農家数 -----	11
3. 動力農機具及び主要家畜頭数 -----	11
4. 主要作物作付状況 -----	12
5. 農業の動向 -----	13
第6節 地域環境の概況 -----	13
第4章 一 般 計 画 -----	14
第1節 事業計画の要旨 -----	14
1. 要 旨 -----	14
2. 事業別面積 -----	14
第2節 営農計画及び土地利用計画 -----	15
1. 営農計画の概要 -----	15
2. 土地利用区分 -----	15
3. 作付方式 -----	16
4. 生産計画 -----	17
5. 労働改善計画 -----	18
6. 級地別土地利用区分 -----	18
7. 土地配分計画 -----	18
第3節 用 水 計 画 -----	18
第4節 排 水 計 画 -----	19
第5節 道 路 計 画 -----	22
1. 道路及び索道 -----	22
2. 路線配置図 -----	23
第6節 農用地造成計画 -----	24

第7節 洪水調節計画	24
第8節 干拓計画	24
第9節 農用地整備計画	25
1. 区画整理	25
2. 暗渠排水	26
3. 客土	26
4. 農地保全	26
第10節 老朽ため池改修計画	26
第5章 主要工事計画	27
第1節 用水施設	27
第2節 排水施設	27
第3節 道路及び索道	28
1. 道路	28
2. 索道	28
第4節 農用地造成	29
第5節 洪水調節施設	29
第6節 干拓施設	29
第7節 農用地整備施設	30
1. 区画整理	30
2. 暗渠排水	30
3. 客土	30
4. 除礫	30
5. 農地保全	30
第8節 老朽ため池改修施設	30
第6章 附帯工事計画	31
第7章 工事の着手及び完了の予定時期	31

第8章 環境との調和への配慮	32
第9章 換地計画の概要	33
第1節 換地計画を作成する上での基本的な考え方	33
第2節 換地区の設定	33
1. 換地区の名称、所在、面積	33
2. 換地区を設定する理由	33
第3節 換地計画樹立の基本方針	33
1. 従前の土地の面積の基準	33
2. 用途別予定地積	34
3. 農用地集団化の方針	35
4. 非農用地の換地方法	35
第4節 土地の評価及び清算の方法	36
1. 評価の方法	36
2. 清算の方法	36
第5節 換地計画樹立の年度計画	36
第6節 換地処分 of 時期に関する特則	36
第10章 事業費の総額及び内訳	37
第11章 効用	38
第12章 関連する事業	39
第13章 現況・計画平面図	39

第1章 目 的

本地区は、山梨市東南部の笛吹川右岸に位置し、ぶどう、もも、おうとうを中心とした果樹生産地域である。地区内の受益農地は未整備かつ小規模で山際は急峻な圃場となっており営農、維持管理に多大な労力を要している。 近年、農業従事者の高齢化、後継者不足により耕作放棄地も目立ってきている状況にある。

よって、効率的な営農を行うための条件整備が急務であり、本事業により生産基盤の整備と担い手への農地の集積を行い農地の有効活用を図り、生産性の向上と農業経営の安定化により、地域農業の維持・向上を図るものである。

第2章 地域及び地積

第1節 地 域

(第1表)

事 業 名	地 域
経営体育成基盤整備事業 (畑総担い手支援型)	山 梨 県 山 梨 市 西 ・ 東

第2節 地 積

(第2表)

事業名	現況地目	田 (ha)	畑 (ha)	樹園地 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
	市町村名								
県営畑地帯総合整備事業	北杜市山梨市岩手			99.8				99.8	
計				99.8	－			99.8	

第3章 現 況

第1節 気象及び海象

1. 一般気象

(第3表－1)

観測所名	甲府地方気象台	かんがい期		非かんがい期		計 又は平均	備 考
観測期間	S26 年～H12 年	5 月 ～ 9 月		10 月 ～ 4 月			
平 均 気 温 (℃)		22.6 ℃		8.3 ℃		14.3 ℃	平年時平均気温
降 水 量	平 均 (mm)	678.2 mm		431.4 mm		1,109.7 mm	
	基 準 年 (mm)	622.4 mm		453.3 mm		-- mm	
降水日数	平 均 (日)	56.8 日		48.0 日		104.8 日	
	基 準 年 (日)	54 日		53 日		108 日	
根 雪 期 間		根雪初 月 日		融雪 月 日		日間	
無 霜 期 間		降霜終 4 月 13 日		降霜 11 月 1 日		201 日間	甲府地方気象台 1971～2000
最 多 風 向		NNW	最大風速 (風向)	33.9 m/s (WSW)		最多風向発生時期	-- 月 ～ -- 月
						最大風速発生年月日	S34 年 8 月 14 日

2. 特殊気象

(第3表－2)

観 測 所 名 甲府地方気象台	第 1 位			第 2 位			第 3 位			第 4 位			第 5 位			備 考
観 測 期 間 M27年～H20年	数量	年月日	発生 確率	数量	年月日	発生 確率	数量	年月日	発生 確率	数量	年月日	発生 確率	数量	年月日	発生 確率	
最 大 日 雨 量 (mm)	244.5	1945.10.6	1/100	230.5	2002.7.10	1/60	223.3	1948.9.16	1/40	222.5	1910.8.10	1/40	213.8	1947.9.15	1/33	
最 大 時 間 雨 量 (mm)	78.0	2004.8.7	1/60	73.0	1978.7.8	1/52	50.8	1956.7.12	1/23	50.0	1975.6.10	1/21	47.9	1966.7.22	1/17	
最 大 連 続 雨 量 (mm)	498.0	1948.10.2 ～10.11	1/82	451.5	1910.8.2～ 8.10	1/49	419.5	1935.9.20 ～9.26	1/26	394.2	1896.9.6～ 9.11	1/26	390.5	1938.6.27 ～7.8	1/25	
最大連続干天日数 (日)	71.0	1973.11.1 ～1.20	1/98	57.0	1975.12.10 ～2.4	1/62	50.0	1944.12.1 4～2.1	1/54	47.0	1939.12.17 ～2.1	1/36	44.0	1986.1.5～ 2.17	1/31	27.9日

3. 海 象

該当なしにつき省略

第2節 土地状況

1. 地形、土壌

(1) 地 形

本地区の地形は500mを最高に最低で350mとなっており、地形勾配は北から南へ、12°（1/5）程度の勾配となっている。

（第4表－1－1）

事業名	地 目	田						畑・その他						受益地標高（m）		備考
	傾 斜 区 分	1/1000 以下	1/1000 ～ 1/500	1/500 ～ 1/300	1/300 ～ 1/100	1/100 以上	計	3° 以下	3° ～ 10°	10° ～ 15°	15° ～ 20°	20° 以上	計	最高	最低	
経営体育成基 盤整備事業	面 積（ha）	—	—	—	—	—	—	—	23.6	42.2	33.5	—	99.3	500	350	
	比 率（％）	—	—	—	—	—	—	—	24.0	42.0	34.0	—	100	—	—	
	面 積（ha）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
	比 率（％）	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	
計	面 積（ha）	—	—	—	—	—	—	—	23.6	42.2	33.5	—	99.3	500	350	
	比 率（％）	—	—	—	—	—	—	—	24.0	42.0	34.0	—	100	—	—	

(2) 土 壌

（第4表－1－2）

項 目 土壌統（区）名	土 壌 統（区） 区 分 一 覧 表											面 積 (ha)				備 考
	土 壌 断 面								堆 積 様 式	母 材	事 業 名					
	色	腐 植 層	礫 層	酸化沈殿物	土 性			泥炭層 黒泥層 及び グライ層			畑地帯 総合 整備事業			計		
					表土	下層土										
					一層	二層	三層									
最 上 統	褐色	含む	あり	なし	Lic	Lic	－		グライ	洪積	非固結 堆積岩	79.5			79.5	
中 島 統	灰褐	含む	なし	あり	Lic	Lic	－		グライ	水積	非固結 堆積岩	19.8			19.8	
計												99.3			99.3	

(3) 侵食の程度
該当なしにつき省略

該当なしにつき省略

2. 土地分類
該当なしにつき省略

該当なしにつき省略

3. 土地利用の状況

(平成22年9月現在) (第4表-3)

[illegible]

第3節 水利状況

1. 用水状況

該当なしにつき省略

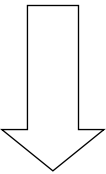
2. 排水状況

(1) 排水系統

本地区の排水は、地区内の小排水路及び地区外水路へ排出される。

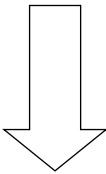
現況排水系統図

用排水路 1 号	
A	21.4 ha
Q1	2.210 m ³ /s
Q2	



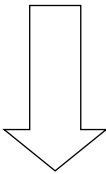
現況排水路

用排水路 2 号	
A	2.1 ha
Q1	0.360 m ³ /s
Q2	



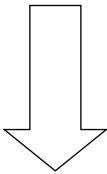
現況排水路

用排水路 3 号	
A	7.6 ha
Q1	1.120 m ³ /s
Q2	



現況排水路

用排水路 4 号	
A	9.6 ha
Q1	1.130 m ³ /s
Q2	



現況排水路

(2) 排水施設

(ア) 排水方法一覧表

(第5表－4)

事業名	施設名 項 目		排水面積						計		排水慣行 (m³/s)	現況排水能力 (m³/s)	備考
			100ha 以上		100ha～20ha		20ha 未満						
			箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha	箇所	ha			
農業用 用排水施設	自然	排水路	--	--	1	21.4	3	19.3	4	40.7	4.82	4.82	
		水門	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
	機械	排水機	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
		水門及び排水機	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
		排水路及び排水機	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	
計			--	--	1	21.4	3	19.3	4	40.7	4.82	4.82	

(イ) 改修を要する施設の一覧表

(第5表－5)

事業名	項目		施設名又は 箇所数	受益面積 (ha)	構造	規模	新設年又は 更新年	改修を必要とする理由	備考
	施設名								
農業用 用排水施設	自然	排水路	4	12.3	土水路 空石積水路	L=660m L=740m	S40年代	断面不足による 溢水防止のための改修	
		水門							
	機械	排水機							
		水門及び排水機							
		排水路及び排水機							
計			4	12.3		L=1301m			

(3) 排水に関する被害状況

(第5表－6)

事業名	項目 系統名	排水面積 (ha)	降水量 (mm)		湛水状況 ※ 1				乾湿状況(ha)						平均減産量		備考
					湛水深 (cm)	湛水時間 (min)	湛水面積 (ha)	湛水量 (m3)	田		畑		その他		作物名	減産量 (t)	
	乾								湿	乾	湿	乾	湿				
農業用 用排水施設	用排水路 1号	21.4	平均	49.0	—	52.2	2.8	6,922			2.8				もも、ぶどう、 おうとう	4.1	降雨量は甲府 気象台の降雨 強度式（1/10 年確率）による
			基準年														
	用排水路 2号	2.1	平均	102.9	—	12.1	0.8	600			0.8				もも、ぶどう、 おうとう	1.2	〃
			基準年														
	用排水路 3号	7.6	平均	90.3	—	15.9	6.5	672			6.5				もも、ぶどう、 おうとう	9.5	〃
			基準年														
	用排水路 4号	9.6	平均	58.1	—	38.0	1.4	2,576			1.4				もも、ぶどう、 おうとう	2.1	〃
			基準年														
計		40.7	平均	—	—	—	11.5	10,770			11.5				もも、ぶどう、 おうとう	16.9	
			基準年														

※1：湛水時間は洪水到達時間を、湛水面積は受益面積、湛水量は洪水到達時間内の総流出量を示す。

3. 河川状況

該当なしにつき省略

第4節 道路現況

1. 道路概況 (1). 現況路線

(第6表)

路線名	管理区分別	延長(m)	幅員		構造	改修の要否	備考
			全幅	有効			
2級市道 0105 号	山梨市	—	6.0	5.5	As	不要	
2級市道 0106 号	山梨市	—	6.0	5.5	As	不要	
その他市道 7010 号	山梨市	340	3.5	3.0	As	要	
その他市道 7011 号	山梨市	350	3.0	2.6	G	不要	
その他市道 7012 号	山梨市	1,350	4.0	3.5	Co	不要	
その他市道 7013 号	山梨市	480	3.0	2.5	As	要	
その他市道 7014 号	山梨市	600	3.5	3.0	As	要	
その他市道 7016 号	山梨市	230	4.0	3.5	As	不要	
その他市道 7017 号	山梨市	150	3.5	3.0	As	不要	
その他市道 7018 号	山梨市	160	3.5	3.0	As	不要	
その他市道 7019 号	山梨市	160	3.5	3.0	As	不要	
その他市道 7020 号	山梨市	70	3.5	3.0	As	不要	
その他市道 7021 号	山梨市	130	3.5	3.0	As	不要	
その他市道 7022 号	山梨市	380	3.5	3.0	As	不要	
その他市道 7023 号	山梨市	50	3.0	2.5	As	不要	
その他市道 7027 号	山梨市	780	3.5	3.0	As	要	
その他市道 7028 号	山梨市	490	3.5	3.0	Co	要	
その他市道 7029 号	山梨市	100	3.5	3.0	Co	要	
その他市道 7030 号	山梨市	220	3.5	3.0	Co	要	
その他市道 7031 号	山梨市	170	3.5	3.0	Co	要	
その他市道 7032 号	山梨市	450	3.0	2.5	As	要	
その他市道 7033 号	山梨市	50	2.5	2.0	As	不要	
その他市道 7034 号	山梨市	1,050	3.0	2.5	As	要	
その他市道 7035 号	山梨市	300	3.0	2.5	As	不要	
その他市道 7036 号	山梨市	460	3.5	3.0	As	不要	
その他市道 7037 号	山梨市	220	3.0	2.5	As	不要	
その他市道 7038 号	山梨市	750	3.5	3.0	As	不要	
その他市道 7039 号	山梨市	120	3.5	3.0	As	不要	
その他市道 7049 号	山梨市	220	2.5	2.0	As	不要	
その他市道 7050 号	山梨市	320	3.5	3.0	As	不要	
その他市道 7051 号	山梨市	100	3.5	3.0	As	不要	
その他市道 7052 号	山梨市	100	3.5	3.0	As	不要	
その他市道 7053 号	山梨市	180	3.5	3.0	As	不要	
その他市道 7054 号	山梨市	180	3.0	2.6	G	不要	
その他市道 7055 号	山梨市	230	3.5	3.0	As	不要	
その他市道 7056 号	山梨市	230	3.0	2.6	G	不要	
その他市道 7057 号	山梨市	220	3.5	3.0	As	不要	
その他市道 7058 号	山梨市	220	3.0	2.6	G	不要	
農道 G001 号	管理組合	300	2.5	2.0	Co	要	
農道 G002 号	管理組合	130	2.5	2.0	Co	不要	
農道 G003 号	管理組合	280	3.0	2.5	As	要	
農道 G004 号	管理組合	380	2.5	2.0	Co	要	
農道 G005 号	管理組合	130	2.5	2.0	Co	不要	
農道 G006 号	管理組合	850	3.0	2.5	As	要	
農道 G007 号	管理組合	390	3.0	2.5	As	不要	
農道 G008 号	管理組合	280	2.5	2.0	As	不要	
農道 G009 号	管理組合	190	3.0	2.5	Co	不要	
農道 G010 号	管理組合	220	3.0	2.5	Co	不要	
農道 G011 号	管理組合	340	3.0	2.5	Co	不要	
農道 G012 号	管理組合	160	3.0	2.5	Co	不要	
農道 G016 号	管理組合	810	3.0	2.5	Co	不要	
農道 G017 号	管理組合	730	3.0	2.5	Co	不要	
農道 G018 号	管理組合	100	3.0	2.5	Co	不要	
農道 G019 号	管理組合	200	3.0	2.5	Co	不要	
農道 G020 号	管理組合	180	3.0	2.5	Co	不要	
農道 G021 号	管理組合	100	3.0	2.5	Co	不要	
農道 G022 号	管理組合	190	3.0	2.5	Co	不要	
農道 G023 号	管理組合	200	3.0	2.5	Co	不要	
農道 G024 号	管理組合	400	3.0	2.5	Co	不要	
農道 G025 号	管理組合	150	3.0	2.5	Co	不要	
農道 G026 号	管理組合	160	3.0	2.5	Co	要	
農道 G027 号	管理組合	950	3.0	2.5	Co	要	
農道 G028 号	管理組合	50	3.0	2.5	As	不要	
農道 G029 号	管理組合	100	3.0	2.5	As	不要	
農道 G033 号	管理組合	300	3.0	2.5	As	不要	
農道 G034 号	管理組合	250	3.0	2.5	As	不要	
農道 G035 号	管理組合	250	3.0	2.5	As	不要	
農道 G036 号	管理組合	90	3.0	2.5	As	不要	
農道 G037 号	管理組合	100	3.0	2.5	As	不要	

第5節 地域農業の概況

1. 産業別就業人口

(平成 27 年 国勢調査) (第 7 表-1)

	A 農業、林業	うち農業	B 漁業	C 鉱業、採石業、砂利採取業	D 建設業	E 製造業	F 電気・ガス・熱供給・水道業	G 情報通信業	H 運輸業、郵便業	I 卸売業、小売業	J 金融業、保険業	K 不動産業、物品賃貸業	L 学術研究、専門・技術サービス業	M 宿泊業、飲食サービス業	N 生活関連サービス業、娯楽業	O 教育、学習支援業	P 医療、福祉	Q 複合サービス事業	R サービス業（他に分類されないもの）	S 公務（他に分類されるものを除く）	T 分類不能の産業
山梨県山梨市	3,290	3,249	4	3	1,296	2,288	91	210	619	2,420	365	150	352	1,021	745	827	2,427	323	784	749	147
計	3,290	3,249	4	3	1,296	2,288	91	210	619	2,420	365	150	352	1,021	745	827	2,427	323	784	749	147
比率(%)	15.4%	15.2%	0.0%	0.0%	6.1%	10.7%	0.4%	1.0%	2.9%	11.3%	1.7%	0.7%	1.6%	4.8%	3.5%	3.9%	11.4%	1.5%	3.7%	3.5%	0.7%

2. 経営耕地広狭別農家数及びに専兼業別農家数

(平成 27 年 国勢調査) (表 7-2)

単位：戸															
新 旧 市 区 町 村	計	経営耕地なし	0.3ha未満	0.3 ～ 0.5	0.5 ～ 1.0	1.0 ～ 1.5	1.5 ～ 2.0	2.0 ～ 3.0	3.0 ～ 5.0	5.0 ～ 10.0	10.0 ～ 20.0	20.0 ～ 30.0	30.0 ～ 50.0	50.0 ～ 100.0	100.0ha以上
山 梨 市	1,770	-	176	434	862	220	51	19	7	1	-	-	-	-	-

単位：戸			
新 旧 市 区 町 村	兼 業 農 家		
	小 計	第 1 種 兼業農家	第 2 種 兼業農家
山 梨 市	842	289	553

3. 動力農機具及び主要家畜頭数

区分/項目	農 業 (戸・人)			土 地 (ha)			主 要 作 物 (戸)			大 家 畜 (戸)			動 力 農 機 具 (戸)			地域指定等
		2010	2015		2010	2015		2010	2015		2010	2015		2010	2015	
変化の状況	総農家数	329	293	耕地	241	231	水稻	0	0	乳用牛	-	-	トラクター	122	53	農業振興地域
	専業農家数	148	154	田	0	0	いも類	0	0	肉用牛	-	-	田植機	2	1	
	第一兼業農家数	75	48	普通畑	2	5	野菜類	2	5	豚	-	-	動力防除機	-	-	
	第二兼業農家数	106	91	樹園地	238	226	果樹類	593	555	ブロイラー	-	-	乗用スピー ド・スプレヤー	-	-	
	農業従事者数	816	532				その他	3	3	採卵鶏	-	-	コンバイン	1	9	
変化の理由	専業農家数は増えているが、総農家数、第一兼業農家数、第二兼業農家数、農業従事者数は減少している。			本地区は果樹農業を中心としているため樹園地が多い、樹園地は農業情勢を反映して減少傾向にある。			野菜類の栽培農家数は増えているが、その他の作物については減少している。			前回調査時と変わらず、本地区の家畜類の生産農家数は0である。			トラクターを所有する農家が減少している、その他農機についてはコンバインが増えている。			

(出典：平成 22 年度、平成 27 年度 農林業センサス)

※データは旧市町村山梨村

4. 主要作物状況

市 町 村 名	山梨市				計	平 均	作 付 率 (%)	備 考
総耕地面積(ha)	2,090				2,090			
総本地面積(ha)	2,080				2,080			
区 分 作物名	作物面積 (ha)	単位面積当り収量 (kg/10a)	作物面積 (ha)	単位面積当り収量 (kg/10a)	作物面積 (ha)	単位面積当り収量 (kg/10a)		
水 稻	22	495			22	495	1	農林業市町村別データ (国中版 H19.6月)
大 豆	16	130			16	130	1	
春植ばれいしょ	17	2,220			17	2,220	1	
だ い こ ん	11	2,730			11	2,730	1	
そ の 他 野 菜	91				91		5	
ぶ ど う	934	1,230			934	1,230	48	
も も	610	1,660			610	1,660	31	
す も も	59	600			59	600	3	
そ の 他 果 樹	183				183		9	
計	1,943				1,943		100	
市 町 村 別 延べ作付率(%)	93				93			

5. 農業の動向

項目 区分	農業			土地			主要作物			大家畜			動力農機具			地域指定等	備考
		B	A		B	A		B	A		B	A		B	A	山梨市 農業振興地 域 H17.9指定 広域濃密生 産団地 H18.3指定	A:平成27年 (2015) B:平成22年 (2010) C:平成17 年 (2005)
(C 年 を 変 化 の 状 況 と す る)	総農家数	92	86	耕地	93	88	水稻	-	-	乳用牛			トラクター	134	53		
	専業農家数	106	110	田	-	-	野菜類	-	-	肉用牛			田植え機	2	1		
	第一種兼業農家数	99	63	普通畑	100	500	果樹類	95	91	豚			コンバイン	1	9		
	第二種兼業農家数	80	68	樹園地	93	86				ブロイラー							
	農業従事者数	133	109							採卵鶏							
変化の理由	厳しい農業情勢に伴って農家が減少しているが、構造的に第一種兼業農家が専業と第二種兼業に分化してきている。			本地域の果樹農家を主体としていることから、樹園地以外の耕地は非常に少ない。樹園地は昨今の農業情勢を反映して、減少傾向にある。			果樹の生産はほぼ横這いとなっているが、種類・品種等の変動が見られる。			本地域には家畜類の生産農家は見られない。			2010年より、動力農機具の統計分類が表記の3種となった。本地区では果樹が盛んであるが、コンバインの台数が伸びている。				

第6節 地域環境の概況

本地区は、山梨市を流れる笛吹川右岸に位置し、笛吹川沿いの平坦地と北部の台地斜面に広がる畑地帯でぶどう・もも・おうとうを中心とした果樹生産地域である。

近隣には笛吹川フルーツ公園を始めとする観光拠点があり、フルーツ王国山梨の名の通り新鮮なフルーツを目当てに多くの観光客が訪れている。

本事業の対象地域となる「岩手地区」は、山梨市に属しているが、平成15年4月1日の北部の町村と合併し、現在、市の東南部に位置している。

標高は、概ね350m～500mに位置するが、甲府盆地特有の内陸性気候であり、寒暖の差が大きい。

積雪はほとんど無く、あっても南向き斜面のためすぐに溶けて、根雪になることはない。北側の台地上からは、笛吹川、甲府盆地、御坂峠、その先には富士山を望むことができ、ものの開花期にはみごとな桃源郷の景観を一望できる田園地域である。

第4章 一般計画

第1節 事業計画の要旨

1. 要 旨

本地区はぶどう、もも、おうとうを中心とした果樹生産地域であるが、急傾斜地に位置するほ場は小規模かつ未整備で営農、維持管理に多大な労力を要している。

この状況を打破し効率的な営農を行うため、区画整理により作物生産基盤整備を行うと共に、農道整備により通作・生産物輸送条件を整備し、さらに、用排水路整備を行うことにより溢水による作物・資産等の被害を軽減する。

これらの事業により、担い手への農地の集積を行い農地の有効活用を図ると共に、生産性の向上と農業経営の安定化により、地域農業の維持・向上を図るものである。

2. 事業別面積

(第8表)

[illegible]

第2節 営農計画及び土地利用計画

1. 営農計画の概要

本地区は、山梨市南部の笛吹川右岸に位置し、ぶどう、もも、おうとうを中心とした果樹生産地域である。地区内の受益農地は未整備かつ小規模で山際は急峻な圃場となっており営農、維持管理に多大な労力を要している。近年、農業従事者の高齢化、後継者不足により耕作放棄地も目立ってきている状況にある。

よって、効率的な営農を行うための条件整備が急務であり、本事業により生産基盤の整備と農地の集積を行い限られた農地の有効活用を図る、それによって生産性の向上と農業経営の安定、地域農業の維持・向上を図り、担い手農家へ優良農地の集積を行い、新品種の導入や、機械化農業の推進により、観光と農業の連携を図っていく。

2. 土地利用区分

(第9表-1)

事業名	土地利用区分	水田 (ha)	普通畑 (ha)	牧草畑 (ha)	果樹園 (ha)	茶園 (ha)	その他 (ha)	小計 (ha)	原野 (ha)	山林 (ha)	その他 (ha)	計 (ha)	備考
農業用排水施設	現況	--	--	--	12.3	--	--	12.3	--	--	--	12.3	
	計画	--	--	--	12.3	--	--	12.3	--	--	--	12.3	
農道	現況	--	--	--	89.2	--	--	89.2	--	--	--	89.2	
	計画	--	--	--	89.2	--	--	89.2	--	--	--	89.2	
区画整理	現況	--	--	--	16.0	--	0.4	16.4	--	--	1.4	17.8	
	計画	--	--	--	15.7	--	0.6	16.2	--	--	1.6	17.8	
					(17.4)								
合計	現況	--	--	--	98.3	--	0.3	98.6	--	--	1.2	99.8	重複除く
	計画	--	--	--	97.6	--	0.6	98.2	--	--	1.6	99.8	//

3. 作付方式

(第9表-2)

		1年目												2年目											
地目	本地面積 ha	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
樹園地・水田													ぶどう(巨峰)												
	9.9	x												x											
													もも(白鳳)												
	44.7	x												x											
													おうとう												
	34.8	x -- x												x -- x											
	9.9	不作地																							
合計	99.3																								

		1年目												2年目											
地目	本地面積 ha	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
樹園地													ぶどう(巨峰)												
	9.8	x												x											
													もも(白鳳)												
	48.9	x												x											
													おうとう												
	39.1	x -- x												x -- x											
合計	97.7																								

4. 生産計画

(第9表－3)

事業名	項目 土地 利用区分		作物名	作 付 面 積 (ha)			作 付 率 (%)		単位面積当たり収量 (kg/10a)			生 産 量 (t)			同左生産量増減の 内訳 (t/ha)		備 考	
				現況	計画	増減	現況	計画	現況	計画	増減	現況	計画	増減	面積 増減	単位面 積 当たり 収量増 加		
農地耕作条件改善事業(区画整理)	水田	表														作付面積合計 は延面積である。		
		項 目																
	畑	通 年	大豆															
			スイートコーン															
			トマト															
	樹園地	通 年	ぶどう	44.9	49.9	0.0	45	50	983	1130	147	441	564	123				
			もも	9.9	10.0	0.1	10	10	1098	1263	165	109	126	17				
			おうとう	35.0	39.9	4.9	35	40	370	426	56	130	170	40				
			不作地	10.0														
	合 計				99.8	99.8	5.0						680	860	180			

5. 労働改善計画

事業名	項目 土地 利用区分	作物名	作付面積 (ha)	単位面積当り労働投下量 (hr/10a)				備 考
				区 分	現 況	計 画	増 減	
県営経営体育成基盤整備事業 (区画整理)	樹園地	ぶどう	9.5	人 力	485.0	346.5	△138.5	
				機械力	33.0	73.0	40.0	
		もも	1.9	人 力	623.0	417.0	△206.0	
				機械力	46.0	22.2	△ 23.8	
		おうとう	7.6	人 力	850.0	583.0	△267.0	
				機械力	30.0	58.5	28.5	
		合 計			19.0			

6. 級地別土地利用区分

該当なしにつき省略

7. 土地配分計画

換地による配分とする。

第3節 用水計画

該当なしにつき省略

第4節 排水計画

1. 計画基準雨量

降雨強度式 $\frac{50.303}{t^{3/5} + 0.106}$ (1/10 確率)「山梨県各地域の確率降雨強度式(甲府)」による。

2. 計画排水方式

a) 単位排水量の決定

施設	区分	算定方式	基準雨量	流出率	(1/年確率)	雨量強度	算出基準	単位排出量
用排水路 1号	小排水路 (山地等)	合理式	mm/日	76%	1/10年確率	49.0 mm/hr	$49.0 \times 0.76 \times 10 / 3600$	0.103 m ³ /s/ha
			mm/日		1/2年確率	-- mm/hr	--	-- m ³ /s/ha
用排水路 2号	小排水路 (山地等)	合理式	mm/日	60%	1/10年確率	102.9 mm/hr	$102.9 \times 0.60 \times 10 / 3600$	0.171 m ³ /s/ha
			mm/日		1/2年確率	-- mm/hr	--	-- m ³ /s/ha
用排水路 3号	小排水路 (山地等)	合理式	mm/日	59%	1/10年確率	90.3 mm/hr	$90.3 \times 0.59 \times 10 / 3600$	0.147 m ³ /s/ha
			mm/日		1/2年確率	-- mm/hr	--	-- m ³ /s/ha
用排水路 4号	小排水路 (山地等)	合理式	mm/日	73%	1/10年確率	58.1 mm/hr	$58.1 \times 0.73 \times 10 / 3600$	0.118 m ³ /s/ha
			mm/日		1/2年確率	-- mm/hr	--	-- m ³ /s/ha

b) 河川洪水位の決定

該当ないので記載を省略

c) 計画洪水深の決定

該当ないので記載を省略

d) 地下排水計画に対する計画諸元の決定

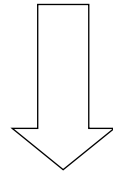
該当ないので記載を省略

3. 計画排水系統（計画排水系統図参照）

本計画地域の排水は、既設の排水路に自然排水される。

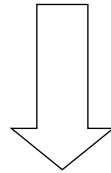
計画排水系統図

用排水路 1 号	
A	21.4 ha
Q1	2.210 m ³ /s
Q2	



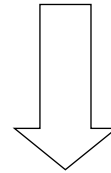
現況排水路

用排水路 2 号	
A	2.1 ha
Q1	0.360 m ³ /s
Q2	



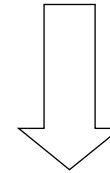
現況排水路

用排水路 3 号	
A	7.6 ha
Q1	1.120 m ³ /s
Q2	



現況排水路

用排水路 4 号	
A	9.6 ha
Q1	1.130 m ³ /s
Q2	



現況排水路

4. 計画排水量

(第11表-1)

項目 排水 系統名	受益面積 (ha)		流域面積 (km ²)		基準 雨量 (mm/hr)	降雨による直接単位		基底流出量		全排水量 (m ³ /s)			単位排水量		備 考
	事 業 名					流出量 (m ³ /s/km ²)		(m ³ /s/km ²)		山地	平 地		(m ³ /s/km ²)		
	畑総(排水)	計	山地	平地		山地	平地	山地	平地		自然排水	機械排水	山地	平地	
1 号	2.8	2.8	0.214	--	49.0	10.3	--	--	--	2.21	--	--	10.3	--	
2 号	0.8	0.8	0.021	--	102.9	17.1	--	--	--	0.36	--	--	17.1	--	
3 号	6.5	6.5	0.076	--	90.3	14.7	--	--	--	1.12	--	--	14.7	--	
4 号	1.4	1.4	0.096	--	58.1	11.8	--	--	--	1.13	--	--	11.8	--	
計	11.5	11.5	0.407	--						4.82					

5. 排水対策

- (1) 排水水門 該当ないので記載を省略
- (2) 排水機 該当ないので記載を省略
- (3) 排水路

(第11表-4)

項目 排水 系統名	流域面積 (km ²)	受益面積 (ha)		計画排水量 (m ³ /s)	延 長 (m)	構 造	排 水 本 川			備 考
		事 業 名					名 称	計画洪水量 (m ³ /s)	計画洪水位 (m ³ /s)	
		畑総 (農業用用 排水施設)	計							
1 号	0.214	2.8	2.8	2.210	243	コンクリート二次製品 HF-1000				
2 号	0.021	0.8	0.8	0.360	270	コンクリート二次製品 U-450				
3 号	0.076	6.5	6.5	1.120	513	コンクリート二次製品 HF-1000				
4 号	0.096	1.4	1.4	1.130	275	コンクリート二次製品 U-600				
計	0.407	12.3	12.3	4.820	1,301					

(4) その他 該当ないので記載を省略

6. 湛水検討

該当ないので記載を省略

第5節 道路計画

(1) 道路

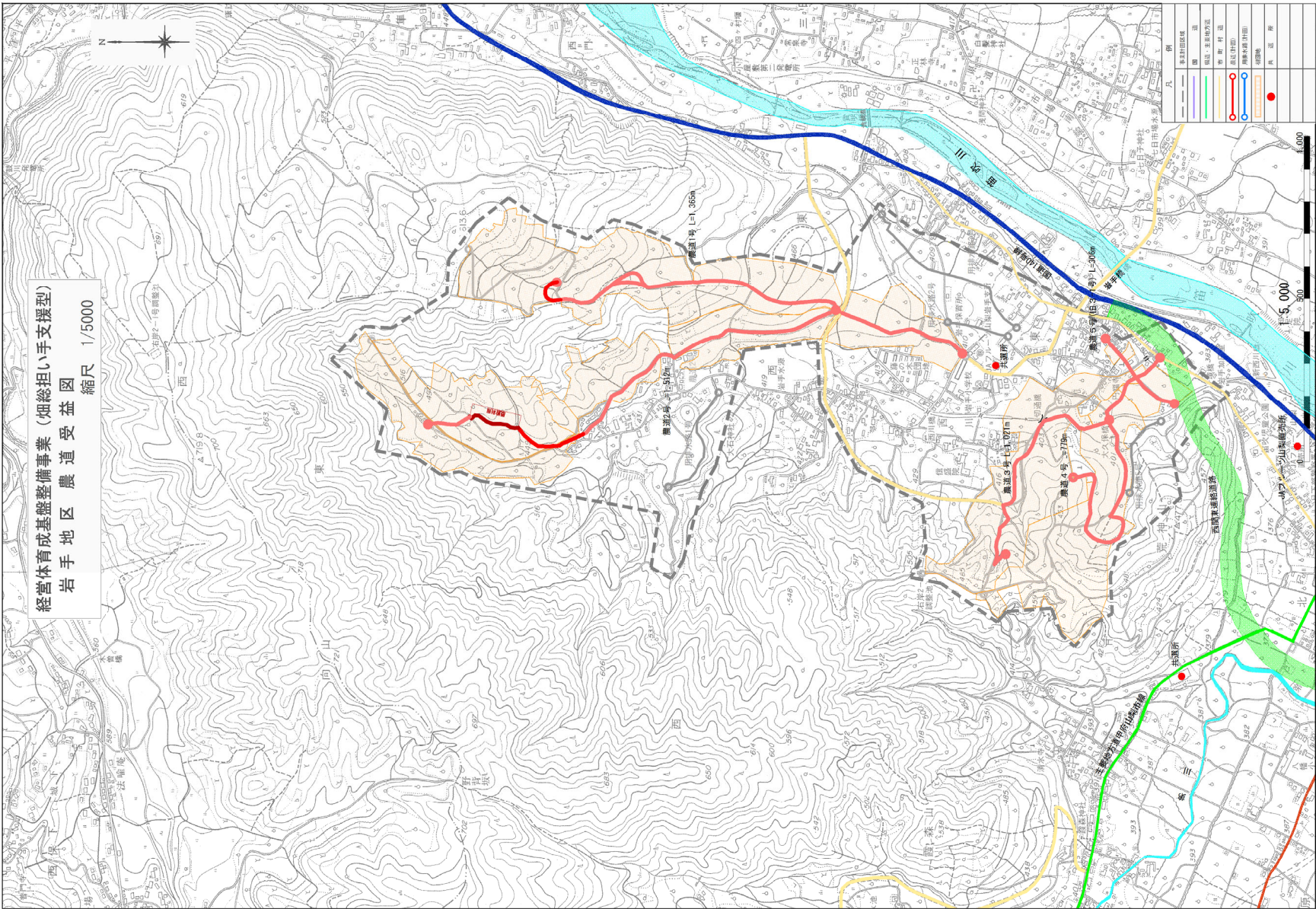
(第12表-1)

路線名 \ 項目	幅 (有効) × (m)	延長 (m)	構 造	既設道路との関係	備 考
農道 1 号	5.0(4.5) ×	1,365	アスファルト舗装 (一部コンクリート)	市道 0106 号及び農道 G029 号に接続	
農道 2 号	4.0(3.5) ×	1,401	アスファルト舗装 (一部コンクリート)	畑総 38 号及び市道 7027 号に接続	
農道 3 号	5.0(4.5) ×	1,021	アスファルト舗装 (一部コンクリート)	市道 0105 号及び農道 G0005 号に接 続	
農道 3-1 号	4.0(3.5) ×	306	アスファルト舗装	市道 7010 号及び市道 7004 号に接続	5 号
農道 4 号	4.0(3.5) ×	779	アスファルト舗装 (一部コンクリート)	農道 3 号・市道 7012 号に接続	

(2) 索道

該当ないので記載を省略

2. 路線配置図



第6節 農用地造成計画

該当なしにつき省略

第7節 洪水調整計画

該当なしにつき省略

第8節 干拓計画

該当なしにつき省略

第9節 農用地整備計画

1. 区画整理

区画整理計画面積は17.8ha(区画整理後 受益面積19.2ha)である。

(1) 区画の形状

(第16表-1)

長辺×短辺 (m)	区画面積 (ha)	全体面積 (ha)	割合 (%)	標高差 (m)	備考
50×20	0.1 (平均)	17.8	100	0.5	
計		17.8			

(2) 表土扱い

(第16表-2)

面積 (ha)	表土扱い要否の理由	扱い深 (cm)	土量 (千m ³)	備考
1.3	要：表土扱いが不要とされる場合以外は原則として表土扱いを行う。 (表土扱いとしない場合) ・ 作土の肥沃度が低いために作土と下層土を混合することによりかえって地力増進になる場合。 ・ 切土、盛土深が5cm以内の平坦な地区の場合。 本地区は上記表土扱いを必要としない場合に該当しない。	25	3.3	

(3) 末端道水路配置図(別添計画平面図参照)

本地区は急傾斜地の整備であるため標準区画として50m×20m区画として設定するが、整備後の作業効率が向上するよう、極力区間を大きくするものとして計画する。

用排水路は計画道路に沿って路面排水と併せて自然流下”とする。

ほ場内道路は、舗装を行い(幅4.0m)を等高線方向に配備するものはアスファルト舗装とし、等高線直角方向に配備するものコンクリート舗装とする。

2. 暗渠排水

(1) 暗渠排水

該当ないので記載を省略

(2) 心土破碎

該当ないので記載を省略

3. 客 土

該当ないので記載を省略

4. 農地保全

該当ないので記載を省略

第 10 節 老朽ため池改修計画

該当ないので記載を省略

第 5 章 主要工事計画

第 1 節 用水施設

該当ないので記載を省略

第 2 節 排水施設

1. 排水水門

該当ないので記載を省略

2. 排水機

該当ないので記載を省略

3. 排水路

(第 1 8 表－ 3)

項目 水路名	受益面積 (ha)		排水量 (m³/s)	延 長 (m)			構 造	勾 配	主要構造物	備 考
	事 業 名			開きよ	トンネルその他	計				
	農業用 用排水施設	計								
1 号	2. 8	2. 8	2. 21	243	--	243	コンクリート二次製品 B1000×H1000	1/40		
2 号	0. 8	0. 8	0. 36	270	--	270	コンクリート二次製品 U-450	1/50		
3 号	6. 5	6. 5	1. 12	513	--	513	コンクリート二次製品 B1000×H1000	1/180		
4 号	1. 4	1. 4	1. 13	275	--	275	コンクリート二次製品 U-600	1/30		
計	5. 5	5. 5	4. 82	1, 301	--	1, 301				

4. その他排水施設

該当ないので記載を省略

第3節 道路及び索道

1. 道 路

(1) 道路の総括表

路線名 \ 項目	幅（有効）× （m）	延長 （m）	構 造	既設道路との関係	備 考
農道 1 号	5.0(4.5) ×	1,365	アスファルト舗装 （一部コンクリート）	市道 0106 号及び農道 G029 号に接続	
農道 2 号	4.0(3.5) ×	1,401	アスファルト舗装 （一部コンクリート）	畑総 38 号及び市道 7027 号に接続	
農道 3 号	5.0(4.5) ×	1,021	アスファルト舗装 （一部コンクリート）	市道 0105 号及び農道 G0005 号に接 続	
農道 3－1 号	4.0(3.5) ×	306	アスファルト舗装	市道 7010 号及び市道 7004 号に接続	5 号
農道 4 号	4.0(3.5) ×	779	アスファルト舗装 （一部コンクリート）	農道 3 号・市道 7012 号に接続	

(2) 道路主要構造物

該当なしにつき省略

2. 索 道

該当なしにつき省略

第4節 農用地造成

該当なしにつき省略

第5節 洪水調整施設

該当なしにつき省略

第6節 干拓施設

該当なしにつき省略

第7節 農用地整備施設

1. 区画整理

(1) 区画整理

工 区 名	面 積 (ha)	整 地 工		表 土 扱 い		備 考
		標準区画	土 量 (m³)	面 積 (ha)	土 量 (m³)	
1 工 区	12.8	10a	3,360	1.3	3,250	
2 工 区	5.0					
計	17.8	—	3,360	1.3	3,250	

2. 暗渠排水

該当なしにつき省略

3. 客土

該当なしにつき省略

4. 除礫

該当なしにつき省略

5. 農地保全

該当なしにつき省略

第8節 老朽ため池改修施設

該当なしにつき省略

第6章 付帯工事計画

該当なしにつき省略

第7章 工事の着手及び完了の予定時期

工期 着手 平成23年度

完了 令和9年度

第8章 環境との調和への配慮

保全対象種の設定

該当なし

整備する環境条件と実施するエリア

該当なし

環境配慮の計画の内容

本地区の整備による影響を緩和するために、以下の環境配慮対策を行う。

- ・ 工事に際しては、工事中の環境への負荷を回避する為に、汚濁水や工事土砂が水路や河川に流入しないよう、対策を徹底する。
- ・ 工事にあたっては、早朝、夜間の工事を行わない。
- ・ 工事の施工に際し、保護すべき動植物が発見された場合は、一時的に動植物を捕獲・採取し移動する。
- ・ 低騒音の作業機械を使用。

第 9 章 換地計画の概要

第 1 節 換地計画を作成する上での基本的な考え方

本地区では、ぶどう、もも、おうとうを主体とした栽培が行われている。事業実施後は、換地区内で1戸1団地を目指し、不作地の解消と担い手への農地集約を図るとともに、一部の団地を、ぶどう団地、もも団地、おうとう団地として農地の集約を図る計画である。傾斜地であるため、対象地積の傾斜等により個々の評価が異なることから、団地化のエリア、傾斜区分、地権者のまとまり等から、換地計画を作成するものとする。

第 2 節 換地区の設定

1. 換地区の名称、所在、面積 (第 2 5 表－1)

換 地 区 の 名 称	換 地 区 の 所 在	面 積 (ha)
1 工 区	山梨市西	12.8
2 工 区	〃	5.0
計		17.8

2. 換地区を設定する理由
該当なし

第 3 節 換地計画樹立の基本方針

1. 従前の土地の地積の基準 (第 2 5 表－2)

換地区の名称	地 積 の 基 準
全 換 地 区	換地交付の基準とする従前の土地の地積は、土地改良事業計画決定の日の登記簿地積とする。但し、上記の日から 3 ヶ月以内に測量士、測量士補又は土地家屋調査士の測量した実測図及び隣接所有者の同意書を添付して申し出があった場合には、その申し出のあった地積とする。

2. 用途別予定地積

(単位：ha) (第25表一)

用 途 換地区名 前後		非農用地区域外に換地する土地													非農用地区域に換地する土地										機能交換に係る土地				一 般 国 有 地 等	総 合 計	
		田	畑	山 林 ・ 原 野	そ の 他	通常事業施行地 域に含める土地 (令第1条の9(書き))			計	本事業によって 生ずる土地改良 施設用地			創 設 農 用 地	合 計	特定用途用地			異 種 目 換 地	創設非農用地						合 計	国	県	市 町 村 等			合 計
						土 地 改 良 施 設	そ の 他	小 計		改 良 区	そ の 他	小 計			宅 地	そ の 他	計		化 農 業 施 設 合 理 化	農 業 上 生 活 に 必 要 な 施 設 ・ 経 営 合 理 化	公 用 ・ 公 共 用 地	宅 地 等	計								
1 工区	従前の土地	--	11.5	--	--	--	--	--	11.5	--	--	--	--	11.5	--	0.3	0.3	--	--	--	--	--	--	0.3	--	--	0.3	0.3	--	12.8	
	換 地	--	11.2	--	--	--	--	--	11.2	--	--	--	--	11.2	--	0.2	0.2	--	--	--	--	--	--	0.2	--	--	0.6	0.6	--	12.8	
2 工区	従前の土地	--	4.5	--	--	--	--	--	4.5	--	--	--	--	4.5	--	0.1	0.1	--	--	--	--	--	--	0.1	--	--	1.1	1.1	--	5.0	
	換 地	--	4.4	--	--	--	--	--	4.4	--	--	--	--	4.4	--	0.4	0.4	--	--	--	--	--	--	0.3	--	--	1.3	1.3	--	5.0	
	従前の土地																														
	換 地																														
合 計	従前の土地	--	16.0	--	--	--	--	--	16.0	--	--	--	--	16.0	--	0.4	0.4	--	--	--	--	--	--	0.4	--	--	1.4	1.4	--	17.8	
	換 地	--	15.7	--	--	--	--	--	15.7	--	--	--	--	15.7	--	0.6	0.6	--	--	--	--	--	--	0.6	--	--	1.6	1.6	--	17.8	

3. 農用地集団化の方針

区 分 換地区分	地帯別、グループ別 団地の設定	個 人 別 換 地 の 方 法		
		位 置 の 選 択 方 法	1戸当りの 目標団地数	区画畦畔 の取扱い
1工区	作付別集団化	作付け品目を重視して、担い手農家への集積を考慮する。従前地の密集した位置を中心に換地する。また、密集地した位置がいくつかに分かれているときには、2ヶ所を限度として密集地を選んで換地する。	1～2	区画界については、配分面積に応じて移動する。
2工区	作付別集団化	作付け品目を重視して、担い手農家への集積を考慮する。従前地の密集した位置を中心に換地する。また、密集地した位置がいくつかに分かれているときには、2ヶ所を限度として密集地を選んで換地する。	1～2	区画界については、配分面積に応じて移動する。

4. 非農用地の換地の方法

区 分 換地区名	用 途	非農用地区域 の位置の概略	面積(m ²)	換 地 の 手 法	換地取得予定者	備考
1工区	山 林	各々の従前地近辺	1,530	特定用途用換地	従前地所有地	
〃	原 野	〃	3,950	〃	〃	
〃	雑種地	〃	86	〃	〃	
2工区	原 野	〃	3,344	〃	〃	
計						

第4節 土地評価及び精算の方法

1. 評価の方法

地区の評価委員が、従前・換地ともその農業条件の最も良い土地を標準地として選定し、その土地価格1点1㎡当たりの単価)を定め、営農上重要と認められる条件項目について段階的な増減点を設定し、各土地を採点する標準地比準評価方式による。

2. 清算の方法

土地改理事業による利益(増加額)を従前の土地の地積に比例配分し、その配分額を加えた額を換地交付基準額として、換地価格との清算を行う比例地積清算方式による。

第5節 換地計画樹立の年度計画

(第25表-6)

区 分 換地区名	一時利用地の指定予定年度	換地計画の認可決定予定年度	換地処分予定年度	備 考
1 工 区	令和7年度	令和9年度(予定)	令和12年度(予定)	
2 工 区	令和8年度	令和9年度(予定)	平成12年度(予定)	

第6節 換地処分の時期に関する特則

本地区において、換地区内の区画形状の変更に係る工事が全て完了し、確定測量が実施されたときは、土地改良法第89条の2第10項で準用する同法第54条第2項本文の規定にかかわらず、換地処分を行うことができるものとする

第 10 章 事業費の総額及び内訳

(第 2 6 表)

区 分 \ 事 業 名		農業用排水	農道	区画整理			計	備 考
主 要 工 事		215	1,833	463			2,637	H30 年度単価
附 帯 工 事		--	--	--			--	
計		215	1,833	463			2,637	地方事務費 125.6 百万円
関連事業 (参考)								
	計							

負担区分

項 目	工 事 費				地 方 事 務 費			
	国	県	市	地 元	国	県	市	地 元
農 業 用 排 水 (生 産 区 域)	50%	25%	25%	0%	50%	25%	25%	0%
農 道 (生 産 区 域)	50%	25%	25%	0%	50%	25%	25%	0%
区 画 整 理 (生 産 区 域)	50%	25%	19%	6%	50%	25%	19%	6%

第 11 章 効 用

1. 投資効率および所得償還率総括

総費用総便益比及び所得償還率

1. 費用対便益比及び所得償還率

畑地帯総合整備事業 岩手地区

(第1表)

区 分	算 定 式	農業用排水施設	農 道	区 画 整 理	計	備 考
総費用(現在価値化)	③＝①＋②	685,067 千円	3,536,566 千円	998,022 千円	5,219,655 千円	
当該事業による費用	①	654,372 千円	3,351,437 千円	972,988 千円	4,978,797 千円	
その他費用(関連事業費＋資産価額＋再整備費)	②	30,695 千円	185,129 千円	25,034 千円	240,858 千円	
年償還額	④	0 千円／年	0 千円／年	4,267 千円／年	4,267 千円／年	
うち機能向上分	④'	－ 千円／年	－ 千円／年	4,267 千円／年	4,267 千円／年	
年総効果(便益)額	⑤	23,469 千円／年	127,136 千円／年	112,671 千円／年	263,276 千円／年	
現況年総農業所得額	⑥	千円／年	千円／年	176,265 千円／年	992,747 千円／年	
年増加農業所得額	⑦	22,803 千円／年	114,228 千円／年	109,320 千円／年	246,350 千円／年	機能向上分
評価期間(当該事業の工事期間＋40年)		55 年	55 年	55 年	55 年	
割引率		0.04	0.04	0.04	0.04	
総便益額(現在価値化)	⑧	904,668 千円	4,676,970 千円	3,399,104 千円	8,980,742 千円	
総費用総便益比	⑨＝⑧÷③	1.32	1.32	3.40	1.72	
総所得償還率	⑩＝④÷⑥×100	－ %	－ %	2.4 %	0.4 %	
増加所得償還率	⑪＝④'÷⑦×100	－ %	－ %	3.9 %	1.7 %	

2. 年総効果額および年総増加所得総括表

2 年総効果額及び年増加所得額及び現況年総農業所得額の総括

畑地帯総合整備事業 岩手地区

(第3表)

(単位:千円)

区 分			年総効果(便益)額	年増加農業所得額		現況年総農業所得額	備 考
					うち機能向上分		
農 業 生 産 基 盤 整 備 事 業	農業用排水施設	作物生産効果	22,507	22,754	12,145		
		営農経費節減効果	△ 68	△ 68			
		維持管理費節減効果	△ 235	117	117		
		国産農作物安定供給効果	1,265				
		小計	23,469	22,803	12,262	76,925	
	農道	品質向上効果	41,248	41,248	41,248		
		維持管理費節減効果	△ 61	5	5		
		営農に係る走行経費節減効果	72,975	72,975	72,975		
		一般交通等経費節減効果	12,974				
		小計	127,136	114,228	114,228	739,557	
	区画整理	作物生産効果	53,460	56,499	20,869		
		品質向上効果	6,242	6,242	6,242		
		営農経費節減効果	46,505	46,505			
		維持管理費節減効果	△ 183	74	74		
		国産農作物安定供給効果	6,647				
		小計	112,671	109,320	27,185	176,265	
	合 計		263,276	246,350	153,675	992,747	

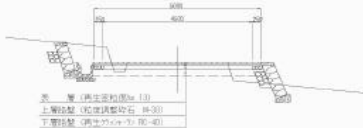
第 12 章 関連する事業
該当なし。

第 13 章 現況・計画図面（別添）

水利施設等保全高度化事業(畑地帯総合整備事業) 岩手地区 一般計画平面図(第2回計画変更)

標準断面図(農道)
S=1:100

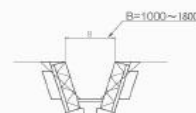
支線農道(アスファルト舗装B=5.0m)



支線農道(アスファルト舗装B=4.0m)



標準断面図(用排水路) S=1:100



路線名	変更前事業量(m)	変更後事業量(m)	増減	変更前事業費(千円)	変更後事業費(千円)	増減
農道1号	1,365	1,365	0	232,787	232,787	0
農道2号	1,401	1,401	0	472,019	472,019	0
農道3号	1,021	1,021	0	331,098	331,098	0
農道4号	779	779	0	129,113	129,113	0
農道5号	306	306	0	31,997	31,997	0
委託土地費				513,862	513,862	0
計	4,872	4,872	0	1,710,876	1,710,876	0
路線名	変更前事業量(m)	変更後事業量(m)	増減	変更前事業費(千円)	変更後事業費(千円)	増減
用排水路1号	221	221	0	53,630	53,630	0
用排水路2号	61	61	0	16,405	16,405	0
用排水路3号	87	87	0	44,625	44,625	0
用排水路4号	53	53	0	14,542	14,542	0
委託土地費				51,771	51,771	0
計	422	422	0	180,973	180,973	0
路線名	変更前事業量(ha)	変更後事業量(ha)	増減	変更前事業費(千円)	変更後事業費(千円)	増減
区画整理1工区	12.8	12.8	0.0	111,375	111,375	0
区画整理2工区	5.0	5.0	0.0	385,751	410,751	25,000
委託土地費				619,151	1,107,151	488,000
計	17.8	17.8	0.0	619,151	1,107,151	488,000

西関東連絡道路

凡	例
用排水路	
農道	
区画整理	